

前 文

■自然・環境・町の特徴

- ・都市の良さと田舎の良さが両方備わっている
- ・古い集落携帯が残る町 10字 スーヅ 屋敷 ・適度な緑の景色がある
- ・緑の多い（農業のある）ベッドタウン
- ・宮平の川の周りは整備されていて子供達が遊びやすい
- ・高齢化率が全国で3番目に低い ・人口が増加傾向にある
- ・市町村合併をしていないまち ・コンパクトなまち
- ・旧集落の人と新町民の比率が良い ・穏やかな人が多い
- ・移住者にも優しい環境（アジマーの文化？）
- ・世界に誇れる人がいる（偉人の存在）
- ・はえるん（ゆるキャラ）がいることで町のPRのツールとして活用しやすい

■生活環境（交通の利便性が良い）

- ・交通の便が良い ・那覇に近く立地条件がよい ・バスターミナルがある
- ・那覇と南部を結ぶ 南部地域の中核 ・高速道路のインターが2ヶ所ある

■生活環境（公共施設の充実）

- ・県立病院や公文書館がある ・陸上競技場がある
- ・図書館がきれいで利用しやすい
- ・本部公園は広くて遊具がたくさんあり良い

■商業

- ・大型商業施設が多く買い物に便利 ・映画館などの娯楽施設も充実
- ・飲み会で二次会に困らない

■コミュニティ（地域活動）

- ・町民の距離が近い ・全字個性的、自治の意識が高い
- ・地域のつながりが根強い
- ・老人クラブなどが見守りパトロールをしている
- ・地域活動に参加しやすい ・青年会活動が盛ん
- ・地域の清掃活動がありきれい

私たち住民にできること 「・」、重複項目該当は「◎」
議会や行政に取り組んで欲しいこと 「*」、重複項目該当は「◇」

第1章 総則

- (目的)
- (定義)
- (条例の位置づけ)

第2章 基本原則

- (情報共有の原則)
- (町民参加)

第3章 町民

(町民の権利)

- ◎町の情報に敏感になる。情報を収集する（広報誌、ホームページ）
- ◎町の行事等に積極的に参加する
- ◎行政への意見提言、町や議員に意見を述べる
- ◎町の委員等に積極的に参加する

(町民の役割)

- ◎町の情報に敏感になる。情報を収集する（広報誌、ホームページ）
- ◎町の行事等に積極的に参加する
- ◎行政への意見提言、町や議員に意見を述べる
- ◎町の委員等に積極的に参加する
- ◎地産地消の推進（町の商品を買う 作る 食べる）
 - ・ 議会活動に関心を持つ
 - ・ 福祉活動への参加 ボランティア活動
 - ・ 公共施設を利用する
(南風原文化センター、図書館を利用する、環境の杜、ちむぐくる館)
 - ・ 住民個人でもSNSやブログを利用して町内の情報発信
 - ・ 定期的に運動し健康づくりに努める
 - ・ 南風原町民であることを誇りに思う 南風原を好きになる 愛着を持つ
 - ・ 公德心の高揚
(税金納付、納めた税について意識を持つ、交通ルールを守る、選挙に行く等)
 - ・ 文化遺産や施設等を探索して地域を知る 地域の歴史を知る
 - ・ 環境保全（ゴミ分別の徹底、清掃活動、環境マナーを守る）
 - ・ 町内の移動はなるべくバスか自転車で→道が混まない 健康に良い
 - ・ 子供達へ勉強を教える

- ・お互いを褒める
- ・かすりをおしゃれに着る
- ・隣近所の人とのつきあい
- ・福祉活動への参加 ボランティア活動
- ・定期的に運動し健康づくりに努める
- ・文化財 町並の保存
- ・古い建物を残す 集落形態 スージ 石垣 生垣 大切にする

(事業者の役割)

- ◎地産地消の推進 (町の商品を買う 作る 食べる)
- ◇地元企業と町民が関われる場をつくる
- ◇地場産業の支援育成
- ◇企業誘致
- ◇働きやすい環境づくり
- ◇雇用の創造 (所得をアップさせる)

第4章 議会

(議会の役割と責務)

(議員の役割と責務)

- * 夜間、週末 議会開催
- * 議員はSNSをやる
- * 若い世代の議員誕生

第5章 行政

(行政の役割と責務)

- ◇こういう住民会議を毎年開催する
- ◇住民の話聞く機会を多く作って欲しい
- ◇行政や議会の情報を町民にわかりやすく伝えて欲しい (情報発信 共有)
- ◇情報発信力の向上
- ◇町役場等のホームページでの公共の情報発信をスピーディーに行う 充実させる
- ◇趣味や楽しい事の情報発信 ホームページ
- ◇行事等の報告 (やって終わりじゃなく・・・)
- ◇広報誌を全世帯へ配布
- ◇南風原チャンネルOCNとか 常に情報発信
- ◇各字、自治会の悩みや課題を広報で町民に情報共有
- ◇声なき人の声を行政にいかして欲しい (小さな声にも耳を傾ける)

- ◇働きやすい環境づくり
- ◇雇用の創造（所得をアップさせる）
- ◇地場産業の支援育成
- ◇企業誘致
 - * 町民との対話（意見交換等）
 - * 要望ではなく住民のニーズの把握をして欲しい
 - * 町行政の行っていないことを把握する
 - * 南風原町のイメージ向上
- （町長の役割と責務）
 - * 町長はSNSをやる
- （職員の役割と責務）
 - * 地域の行事に参加（字等の役員など）
 - * 行事でのボランティア活動
 - * 役場職員の資質向上
 - （職員の対応を統一して良くして欲しい、柔らかい雰囲気づくり、たらい回しにしない）

第6章 行政運営

（総合計画）

- * 介護施設の認定制
- * お年寄りが外に出やすいサービス（巡回車とか・・・）
- * 南風原頑寿（がんじゅう）大学の設置
- * 町の特産品や商品を宣伝するアンテナショップをつかって欲しい
- * 道の駅
- * はえばるハローワーク開設
- * はえるんと写真が撮れる 12/25 7/7 2/14
- * 町のキャラクター「はえるん」を活用したPR事業を行って欲しい
- * 「南風原」の地名が入ったヒットソングをつかって欲しい
- * 宿泊施設等のホテルをつくる
- * 町内のインフラを整備する
- * モノレールの延長 or 首里までのシャトルバス（バスターミナルまで）
- * ロープウェイ 新川ー兼城 観光地
- * 公共交通バスを無料化する
- * 統一感のある公共施設 活用しやすい施設づくり
- * 小さな公園の管理
- * 公共施設の利用促進
- * 陸上競技場の積極的な活用

- * 学校や、公共建築を100年以上残すためのメンテナンスとコンクリート施工
 - * インターネットで南風原図書館の蔵書を検索したい
 - * 図書館の蔵書の充実
 - * 図書館の広さはしばらく望めないが電子図書を充実させ沖縄一の蔵書数
 - * 町営霊園パーク建設
 - * 南風原らしい風景づくり
 - * 景観を考える景観法 景観行政団体になって潤いのある豊かな生活
 - * 南風原町にしかない並木道を造って欲しい
 - * 南風原町にソメイヨシノの桜の花見ができるようにして欲しい 桜が人を集める
 - * 町並景観条例の制定
 - * 街路樹を増やす
 - * 未来都市構想
 - * 歩道の草刈り清掃
 - * 住民では手に負えないような場所の美化整備
 - * 道路の草刈り 歩けない 見通しが悪い
 - * 川でカヤックができるようにして欲しい
 - * スプリング付きマットレスソファを収集して欲しい（現在は産業廃棄物となっている）
 - * かすりの郷土づくり
 - * かすりを若者へ浸透させる取り組み
 - * 農家を増やせるように地域で買い取るシステムづくり
 - * 農地の転用を含めた積極的な活用
 - * ボランティアで参加できる農地づくり（まちで買い上げる）
- （健全な財政運営）
- （情報の公開及び共有）
- ◇ 行政や議会の情報を町民にわかりやすく伝えて欲しい（情報発信 共有）
 - ◇ 情報発信力の向上
 - ◇ 町役場等のホームページでの公共の情報発信をスピーディーに行う、充実させる
 - ◇ 趣味や楽しい事の情報発信 ホームページ
 - ◇ 行事等の報告（やって終わりじゃなく・・・）
 - ◇ 広報誌を全世帯へ配布
 - ◇ 南風原チャンネルOCNとか 常に情報発信
 - ◇ 各字、自治会の悩みや課題を広報で町民に情報共有

(個人情報保護)

(説明責任)

(行政組織)

(審議会等)

＊町の委員をどんどん若い人に変えていく

(行政手続)

(意見公募手続)

(町民からの意見、要望、苦情等への対応)

◇声なき人の声を行政にいかして欲しい(小さな声にも耳を傾ける)

＊まちづくりプランショーみたいなもの

(行政評価)

第7章 参画及び協働

(参画及び協働の推進)

◇こういう住民会議を毎年開催する

◇住民の話を聞く機会を多く作って欲しい

(住民投票)

第8章 地域コミュニティ

(地域コミュニティ)

- ・地域の行事、活動等に積極的に参加する
(清掃、イベント P T A 読み聞かせ)
- ・綱曳きや十五夜等字の行事に小学生が参加しやすい雰囲気をつくる
- ・字の役員積極的になる
- ・各地域(集落)でWEBサイトをつくる
- ・地域の行事に参加して情報交換を行う
- ・各地域の行事の周知
- ・自治会に加入する
- ・地域自治会のルールを学ぶ
- ・地域伝統の継承
- ・地域に愛着がもてる環境づくり 変わらないところ 人々が主役
- ・歩いて買い物できない方への同行(代行) 隣近所
- ・学校の読み聞かせ等への参加
- ・同窓会を開催、参加する
- ＊自治会活性化推進券の交付
- ＊参加しやすいイベント企画

- * イベント作り 町内つなひき
- * 自治会加入の推進
- * リサイクルループ事業のような行政の積極的な関わりが必要

第9章 安心、安全なまちづくり

(町民生活の安全確保)

- 地域や近所での声かけを行う 子供達への声かけ
- 地域の見回り活動の推進 見回り活動を行う(防犯)
- 交通安全運動へ参加する
- 子供達への声かけ
- * 安全、安心のまち宣言
- * 街灯を増やして欲しい

第10章 平和活動の推進

(平和活動の推進)

第11章 連携等

(地域内の連携)

- 人材マップ、観光マップ・・・集落で・・・が一番上手な・・・さん 知識を大切に
- 空き屋、古民家活用の集落を意識した小さな宿泊 人の交流
- 個々をつなげるシステム 人々をつなげるシステム
- 人のつながりのサポート 人が大切
- 町民で写真 町内のコンテスト等をやる
- 各家での料理教室、三線教室等 ネットワーク
- 各種団体、組織育成
- 仕事の内容を伝える
- おしゃれなお店は一つに集める
- アートのある町
- 土地を売る(土地の有効活用)
- * 町民が一つになって参加するイベントを企画する
- * 体協のやり方を検討 新しい町民も参加しやすいような仕組みづくり
- * 世代交流の翼 事業
- * 沖縄の歴史やウチナーグチを学ぶ講座
- * 生きがいづくりや居場所づくりができるような場を設けて欲しい
(公民館講座の充実)

- *日本で一番英語が話せる人が居る町にする
- *英語が話せるようになる小学校づくり
- *観光客を増やすために英語を話せる人を増やすシステム作り
- *家族役割での横のつながりの交流会を主催する
- *字より少数の集まりをつくる
- *ポイント制の導入 スポーツ 買い物など
- *町内の遊び所のマップ作成
- ◇地元企業と町民が関われる場をつくる
(国及び他の地方公共団体との交流及び連携)
- (他の市町村との連携)
 - ・町の事を他市町村への宣伝(町に住んでもらうよう友人に声かけをする)
 - ・海がないことを逆手に取ってアピール
- (国際交流)
 - *外国人が住みやすい地域づくり

第13章 条例の見直し

(条例の見直し)